



発行
天理教本愛大教会

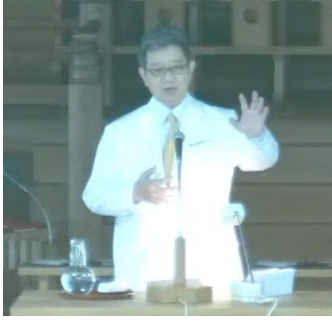
〒453-0821
名古屋市中村区大宮町1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

4月神殿講話より

勢納八郎先生

立教187年4月月次祭の神殿講話には、医師の勢納八郎先生（網干大教会ようぼく）が登壇された（写真）。講話の一部を要約して紹介する（全文は下記QRコードから動画でご覧ください）。

本日は「この世は不思議なご守護にあふれている」「勇んで定命を迎えるために、医療ようぼくが考える気づきのポイント」の二つについて、お話をさせていただきます。



私は平成元年に名古屋大学を卒業後、おぢばのよろづ相談所病院憩の家で研修をさせていただいた医療ようぼくです。学生のころから憩いの家ではお世話になっており、当時は本高見分教会に、月に一度参拝させていたっていました。

以前は本愛大教会からそれほど近い場所で、「偕行会城西病院」の医院長を務めておりました。現在は、新たに開設した「城西名原訪問クリニック」で院長を務め

年間活動目標
今日を陽気に。
つながる、
つなげる。

ております。

この名原というのは、名原分教会が持つ土地をお借りしていることから命名したものです。その教会とは、前職時代から前会長様を私が長く患者として担当していたご縁がありました。

このクリニック開設の経緯をお話すると、以前、捨て犬や猫の保護を行っているあるNPO法人の方から、「この名原分教会の場所を使わせてもらいたいと考え

ている。口を利いてくれな

いか」と言われたことがありました。いくらなんでも教会の場所を、とは思いましたが、おつなぎしたところ、更地にするしかないと考えていたところだったそう、実現に向けて動き出し始めたかに思えました。

ところが紆余曲折があり、結局は実現せず。しかし時を同じくして私が前職の病院を離れることとなり、かねて私が行いたいと思っていた「生きる力を支える在宅訪問診療」を実現すべく、「私がお借りさせていただけないか」とご相談したところ、快くお引き受けただけだったのでした。

 **YouTube**

続きは
本愛大教会
公式チャンネルで

4月神殿講話
勢納八郎先生
医師



※上記のQRコードを読み取って、ご覧ください。本愛誌の読者限定で公開している動画ですのでチャンネル内の動画一覧からはご覧いただけません。

入社祭	1日 午前10時
よふき会例会	2日 午前10時
ほんあいキッズキャンプ	11日〜12日
月次祭	13日 午前10時
青年会例会	13日 午前10時
布教実修所	14日 午前10時
むつみ会例会	16日 午前10時
こども食堂MOGU	17日 午後5時
女子青年例会	20日 午前10時
本部月次祭	26日 午前9時
習字のOKEIKO	華水教室
5週目を除く毎週木曜日	

5月のこよみ

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人



先日、ある方からのご質問で、「メーカーに勤務しているのですが、教会長の父が突然出直し、自分が教会長を継ぐことになりました。理の親からは『道一条になつてはどうか』と言われましたが、仕事を辞めて教会をしながら家族を養っていく自信がありません。どうすればいいでしょうか」というものがありました。



私は、これはご本人の覚悟次第だと思います。逆に言えば、道一条で歩むことが無理だと感じるのであれば、仕事を続ける選択は間違いではありません。道一条で歩むことも、働きなから信仰を続けることも、どちらも正解だと私は考えま

先日は、「愛」という言葉を通して考えてみたいと思います。

親が子供を育てるように

とはいえ、天理教の原典教理には「愛」という言葉は出てきません。これはおそらく、江戸時代末期の人々は、「愛」という言葉を、現在の私たちが認識するようには捉えていなかったからでしょう。英語の「LOVE」の訳語としての「愛」

この質問から、今回はお道の信仰者は日々どうあるべきか、ということについて、「愛」という言葉を通して考えてみたいと思います。

「可愛一条が神の思惑、神はたすけ一条である」というお言葉から、親神様のご慈愛について、「基督が『神は愛なり』と云ひ、トルストイが『愛あるところ神あり』と云つたのは共に神のこの慈愛を讃仰したもので、教祖の『なんでもなんぎはさ、ぬぞへ助け一條のこのところ』(引用ママ)のお言葉は愛の源泉」(大正7年10月)と書いています。

という表現は、明治時代以降に広がった概念なのです。それでも、教祖のひながたやお言葉、「ご行動を『愛』と表現している先生方は多数おられます。

たとえば、芦田義宣氏は「可愛一条が神の思惑、神はたすけ一条である」というお言葉から、親神様のご慈愛について、「基督が『神は愛なり』と云ひ、トルストイが『愛あるところ神あり』と云つたのは共に神のこの慈愛を讃仰したもので、教祖の『なんでもなんぎはさ、ぬぞへ助け一條のこのところ』(引用ママ)のお言葉は愛の源泉」(大正7年10月)と書いています。

また、先人の先生方の逸話には、「愛」を感じるお話もあります。

それは、信者の草履を自らそろえようとした深谷源次郎・河原町大教会初代会長の逸話でした。

深谷先生は、驚くその信者に対して、「あんたもこれから(中略)信者を育てて下さるのだが、親が子供を育ててやるように可愛がつて育ててやって下さい。みんなの信者を草履をそろえてやって下さい」と話したそうです。

やはり、天理教の教えの中で「愛」を考へるとき、それは親なら誰もが持つ子供への「愛」がまず最初に想定されるようです。

冒頭の質問の中で、道一条を勧めた教会長さんも、おそらく質問者さんを実の子供のように思うからこそ提案だったのでしょう。

そうしてみたとき、世の中は実に「愛」にあふれていることに気づきます。自分自身も誰に対してもわけ隔てのない愛を持って接したり、言葉をかけたりしていききたいと思えます。そこそが、教祖がお喜び下さる信者の通り方だと、私は感じます。

「可愛一条が神の思惑、神はたすけ一条である」というお言葉から、親神様のご慈愛について、「基督が『神は愛なり』と云ひ、トルストイが『愛あるところ神あり』と云つたのは共に神のこの慈愛を讃仰したもので、教祖の『なんでもなんぎはさ、ぬぞへ助け一條のこのところ』(引用ママ)のお言葉は愛の源泉」(大正7年10月)と書いています。

公式サイトと YouTube をご活用ください!

天理教 本愛 Q 検索

こんなに便利



- 大教会の行事日程を確認
- 本愛誌最新号とバックナンバーをダウンロード
- その他お知らせ

楽しく学ぶ



- 祭典の様子をライブで視聴
- 大教会長の連載動画
- 神殿講話の限定配信

教理随想

言わん言えんの理を探る



教祖百四十年祭三年千日の二年目も中盤を迎えようとしています。諭達第四号を日々拝読してその趣旨を心に治め、身近なところで教祖のひながたを実践することが諭達に込められる思召ですが、外へ向かう活動の心がけると同時に、我が心の内面に向けても教えを深め、ひながたを身につける努力が促されています。

この世の中は、「二つ一つが天の理」ですから、信仰の道を進む道中でも、外への働きかけと共に、内に向けての教えの実践がバラ

スよく保たれなければ、親神様の思召に適う成人とはなりません。そのためには我が心をどのように使えばよいのでしょうか。まず頭に浮かぶのは「八つのほこり」の説き分けです。教祖は親神様の思召に沿わない心使いを「ほこり」と教えられ、心に積んだほこりを払うことの大切さを明らかにしてくださいました。ですから心のほこりを払うことは大切ですが、それだけで十分かというと、そうではありません。

日々の暮らしにたとえなら、家の中の拭き掃除や掃き掃除は大事ですが、それだけでは必ずしも快適とはいえないでしょう。本当に安全で快適で楽しく暮らすためには、生活道具の特性を活かして正しく積極的に用い、時には思い切った模様替えをしたり、道具を便利で新しいものに取り換えるなどの工夫が必要になります。

これを心使いに置き換えるとうなるでしょうか。それは「十全の守護」の教理を深く学び、そこに示される心使いを積極的に身につけることです。中でも人間創造の時の中心となられたくにとこたちのみこと水の守護と、をもちりのみこと火のご守護から教えられる心使いは、人間の基本、夫婦の基本として必ず身につけなければなりません。まず水は低い所にしか流

【第 113 回】
信仰の匂いを世に広めよう
教えを規範に我が心を正し

またかしこねのみことは風の守護の理ですから、身体機能でいえば呼吸と言葉に関わる働きです。そこから悟れるのは、言葉の使い方陽気ぐらしを望まれる

神の思召に沿っているかどうかという自省の心です。これらの他に、くにさづちのみことの働きから教えられる「つなぐ心」、月よみのみことの「理に突っ張る心」、たいしよく天のみことの「決断する心」など、十全の守護には人間同士が丸くつながり合って、陽気に暮らすための心使いの要点が散りばめられています。その一つ一つを深く悟って日々の生活で実践する。そこから滲み出るのが感謝の言葉であり、慎みの態度であり、たすけあいの行動となつて陽気ぐらしの道が広まっていくのです。

本愛大教会 創立110周年記念祭

立教187年
2024年 6月23日(日)

本海部分教会三代会長
安井鐵郎之霊の五年祭
本海部分教会では3月24
日午前11時より、三代会
長・安井鐵郎之霊の五年祭
が同分教会で行われた。

3月の初席者
谷内悠葵(直轄)
オクダマリエ・エレンバサ
ネス(本和合)
永田鈴花(本心徳)

3月のおさづけの理拝戴者
伊藤直(本仁愛)

毎週木曜日(5週目を除く)
15時30分〜17時30分

生徒募集

習字のOKEIKO
華水教室

自分のペースで、
字を書いてみませんか?




ほんあいキッズキャンプ

2024年5月11日~12日

内容：シーカヤック、磯釣り、キャンプファイヤー
(雨天時変更あり)

場所：国立若狭湾青少年自然の家(福井県小浜市)
※詳細は少年会本愛団へお問い合わせください



大教会日誌

令和6年3月25日~令和6年4月24日

3月

25日 修養科志願者面接(於・本愛詰所)

26日 本部月次祭

28日 春の学生おちばがえり(於・本部中庭)

31日 常任役員会議◇役員会議

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・筑紫英一、都築隆道

指図方・安藤正二郎 賛者・津田豊郎、坂倉敏男

◇祭典講話一勢納八郎先生

(網干大教会ようぼく・医師)

4月

1日 入社祭

祭主・大教会長 扨者・杉村善男、細川明

指図方・大橋進 賛者・津田豊郎、大橋善太郎

◇祭典講話一安藤正二郎

◇大教会長挨拶

2日 よふき会例会

おつとめ、十二下りてをどり、連絡会

◇大教会長挨拶

青年会例会

14日 布教実修所

16日 むつみ会例会

17日 こども食堂MOGU

18日 教祖誕生祭◇よろこびの大合唱

19日 天理教婦人会第106回総会(於・本部中庭)